

名古屋三河道路

の早期実現に向けた

要望書



令和3年12月22日

愛知 県
名古屋商工会議所
一般社団法人中部経済連合会

要 望 書

本県は、自動車産業を始めとした世界に誇る産業の集積地であり、製造品出荷額等は約48兆円と43年連続日本一となるなど、「**産業首都**」として**日本経済を牽引**しております。

また、東京・名古屋間で建設工事が進められているリニア中央新幹線の開業は、本県と首都圏の時間距離を大幅に短縮させ、さらに大阪までの全線開業により、三大都市圏が一体となった「**リニア大交流圏**」が誕生することとなります。そのセンターに位置する本県は、自動車産業等の基幹産業の持続的な発展や**次世代産業の振興**、交流圏拡大に向けた**戦略的広域連携、観光の推進**など、多様な産業分野において力を発揮し、世界中から人・モノ・カネ・情報が集まる**中京大都市圏の中核としての役割**を担っていく必要があります。

高規格道路名古屋三河道路が貫く知多及び西三河地域は、本県の製造品出荷額等の約7割を稼ぎ出す、「モノづくりあいち」を牽引する地域であり、現在も新たな企業の立地が進む活力ある地域であります。一方で、地域内の生産拠点から名古屋港、中部国際空港へのアクセス道路となる国道23号名豊道路や国道1号などでは、渋滞が頻繁に発生し、当地域の強みであるモノづくりの生産性に大きな影響を及ぼしております。

本道路は、**物流拠点と各地に広がる生産拠点を結ぶ広域幹線道路ネットワークを構成**し、**生産性向上**に資するとともに、名古屋港を始めとした効率的な物流交通確保に向け、平常時・災害時を問わない円滑で**安定的な物流確保**を担うなど、本県の発展に大いに寄与する道路であり、早期実現が必要です。

このため本県としても、国土交通省中部地方整備局において実施していただいている「**名古屋都市圏環状機能強化の検討**」の調査と連携し、個別路線としての検討をしっかりと進めるとともに、関係機関が一丸となって計画の具体化に向けて取り組んでまいります。

つきましては、以上の事情をご賢察賜り、次の項目についてご支援いただきますよう、特段のご配慮をお願い致します。

記

1. 本道路を含めた災害に強い道路ネットワークを構築するため、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策について、必要となる予算・財源を別枠で、かつできる限り当初予算で確保し、計画的な事業執行が可能となる柔軟な措置を講じること。
2. 名古屋港をはじめとした効率的な物流交通確保に向け、**名古屋都市圏環状機能強化の検討を進め**、平常時・災害時を問わない安定的な輸送の確保と生産性向上のため、新広域道路交通計画の高規格道路に位置付けられた**名古屋三河道路を重要物流道路へ指定した上で、早期実現を図ること。**
3. 名古屋港から新東名高速道路に至る名古屋三河道路の中でも、特に、**知多地域と国道23号名豊道路を結ぶ区間**については、名豊道路(知立バイパス)や境川・衣浦湾周辺等における交通課題へ対応する区間となることから、**優先的に取り組むこと。**

令和3年12月22日

愛知県知事 大村 秀章
名古屋商工会議所会頭 山本 亜土
一般社団法人中部経済連合会会長 水野 明久

